

池に落ちたら1万円500円

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52)——草津市

はい上がる人

わたしの歩跡

松竹と東映の撮影所は空気に通に對話ができたんですね。

が全然違いましたねえ。東映はびりっとする感じでしたけど、松竹はパイプいすに座ってメークをやっていたら、渡辺謙さんが「おはようございます」って隣でやり出す。人数が少ないこともあってか、知らない役者さんにも普通にしゃべりかけて普

で、上とすると、無声映画から出ていた山内の八っちゃん(山内八郎さん)という名物おじいちゃん。女性は5、6人ぐらいでした。

松竹も東映も一人もんばっかり。大部屋だけで生活は絶対できないので、みんなアルバイトをしてました。時代劇で着物姿は「二枚目で格好いいなあ」というのに「帰りに衣装、メーク、カツラ外したら「えっ、これがあの武士やった人?」っていうことがあって。近所に雇んでパジャマ姿の人もいました。



頭をそると、手当5000円。手当は、雨ぬれなど細かく料金が設定されていた—いづれも本人提供

僕の日当は最後まで6500円でしたけど、手当が付くことがあって。助監督が「誰が悪い。ここで池に落ちてほしいなあ」。撮影所内の池なら確か5000円、ロケ先の琵琶湖とか自然の湖や池なら10000円。「あした、坊さん要んねん。頭できる(それ)??」「できます」って言うたら50000円。走ってくるお殿さんの馬を止めて、手綱を持つと馬の口取り手当35000円。馬って、結構危険なんですよ。

手当は面白いくらい細かく付いている。はあ、そんなんでちょっとずつ増やしていくんですよ。雨ぬれ手当は、パラパラした雨なら確か3000円。土砂

生活できず、みなバイト



大部屋俳優の先輩、東田達夫さん(右)と。東田さんは今も時代劇などに出演している

降りなら5000円。特機という部署が消防車のホースみたいなので、ぶわーって降らすんですね。「大工土平」って書いてあるところに、矢野で「この現場で雨ぬれ」とか、忘れずに自分で書き込むんですよ。

松竹は食堂がなくて、ナイトシーンがあると5000円の食券が出るんです。近くの商店街の食堂3、4軒や王将で使えました。極力使わないように、パンとか安い物でいいので、みんなためていましたねえ。6枚めたら30000円分食べられるので。ははは。みんな貧しくてその日暮らしてましたね。

時代劇のラストの立ち回りは、殺陣師さんが東京から来ら

周囲へ感謝忘れず 役にも味が

ドンペイさんがフェイスブックで発信中。読んだ方から「ドラマや映画の裏も注意深く観る楽しみもできました!」いろいろな役を演じられ、その役に親しみを感ずるの

は、下積み時代や学生の頃の経験や、周りの人への感謝を忘れずにきたからでしょうね」というコメントが寄せられました。

【エリア編集委員・大澤重人】
——つづく、水曜掲載